

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年9月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	469720022
法人名	有限会社 南の太陽
事業所名	グループホーム 南の太陽
所在地	鹿児島県肝属郡東串良町新川西1356番地 (電話) (0994)-45-7373
自己評価作成日	平成30年7月31日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年9月3日(月)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者様がいつまでも笑顔で楽しく自分らしく暮らして頂けるよう職員はその人らしさが発揮でき、利用者様やそのご家族も安心できるような環境作りに努めています。
- ・地域の方々との交流の場として、ボランティアの受け入れや慰問などを依頼し利用者様と地域の方々との交流の場を提供しております。職員も町内の催しや毎月ある神社の清掃活動にも参加させていただいております。
- ・季節に合わせたイベント食やバイキング等での食事提供も利用者様に好評です。
- ・イベント行事では、おやつ作りや室内レク、ドライブを月々で計画し季節に合わせて花火大会やそうめん流し、秋祭り、初詣など利用者様に喜んで頂けるよう実施しています。
- ・医療連携体制の訪問看護との連携による健康管理、日々の観察にて体調変化の早期発見に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、東串良町郊外の田園風景が広がる河川敷に程近い場所に位置しており、隣接して住宅型有料老人ホームや法人運営の保育園があり、大隅地区にも小規模多機能ホームを始めとする複数の介護事業所を運営している。役場は近隣にあり相互の協力関係を築いている。
- 地域とは、法人のイベント(そうめん流しや秋祭りなど)を通じて交流したり、老人会の方々のボランティアの受け入れ、茶話会、保育園児との交流活動をしている。また、職員は町内の催しの手伝いや毎月の神社清掃活動にも参加し、地域の方々とのつき合いを大切にしている。
- 食事は、隣接した有料老人ホーム厨房から配食されているが、炊飯は、ホームでおこない、おやつ作りの日があり利用者と職員が手作りを楽しんでいる。献立は、管理栄養士が作成し、職員は月1回給食委員会に参加して利用者の食の楽しみや自立支援について話し合っている。秋祭りでは、杵つき餅を食べやすくアレンジしたり、利用者によっては代替えや形態を工夫するなどして食している。お花見の弁当、バイキング料理など行事食にも配慮して食事が楽しみになるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念はリビングに掲示しています。グループ内での経営理念は毎朝の朝礼の際に唱和をして、理念に沿った介護ができるよう努力しています。	管理者は、家族や地域との結びつきを意識した理念を職員と共有しているが、すべての職員に浸透しているとは言い難いと感じている。職員との個人面談の機会や業務への取り組み状況を踏まえ理念に沿ったケアの実現に向けて取り組を始めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	グループ内で行う、そうめん流しや秋祭りに地域の方々を招きその際に交流を行っている。老人会の方々がボランティアに来てくださった際は利用者様とのお茶会を開く。	老人クラブの来訪やボランティアの方が拭き掃除に来て下さったり、保育園児との交流活動があり、職員は毎月、神社の清掃活動に参加、地域に呼びかけて、ソーメン流しや秋祭りに来ていただくなど地域と積極的に関わり交流活動している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症についての理解や支援方法は地域の人々に向けていかせていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回開催して、利用者やご家族、地域の方々や行政担当者等に参加してもらい意見交換をしています。会議での内容を職員へ共有して、サービス向上に活かせるようにしています。	管理者は、家族や地域の方の参加が少ないことに悩んでおり、行政の理解も得られていることから、今後、参加メンバーが出席しやすい日程調整を検討していく予定である。会議では、質疑応答など活発に意見交換がなされ出され、意見やアドバイスなどは、サービスの質の向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や介護保険などで報告・連絡・相談をし助言等もらいながら連携を図っています。</p>	<p>市職員や福祉事務所職員、社会福祉協議会支援相談員などの協力関係があり、東串良、肝付地区との合同勉強会への参加には、専門職別に案内があり、積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全ての職員が身体拘束について理解を深め定期的に施設内研修や勉強会を実施している。</p>	<p>職員は、身体拘束の弊害や廃止について知識を深め実践していくために、年3回程度の内部研修会への参加や勉強会を実施している。管理者は、今年度法改正もあり身体拘束指針についても整備したいとの考えがある。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止について個別や職員会議、研修会を通じて利用者様への関わりを検討し防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、各制度による支援者がいない事もあり勉強会や制度の活用について学ぶ機会が少ない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に時間を取って説明をし理解を図っている。その後についてはご家族と連絡を密に取り説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族より意見・要望があればそのつどご理解を得られるよう努めている。職員間で共有周知し改善や質の向上に努めている。	利用者や家族とは、直接面談で意見や要望などを聞き取るよう努めており、出された意見は、職員会議などで話し合い、サービスの見直しやケア向上に繋げるよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議などで意見や提案を求めると共に申し送りノートや口頭での報告・連絡・相談を密にするように努めている。	人事考課システムがあり、年2回職員と面談し、意見や提案などを聞き取り出された意見は、サービスの質の向上に活かしている。事業所は、職員が働きやすい職場環境を整備し、親睦会（食事会や飲み会）などは職員の気分転換の機会やコミュニケーション活動に役立っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課にて現状と目標管理を行い職員個々の努力や実績を評価している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内、法人内、法人外研修への参加の機会を設け全職員が偏りなく参加できる様に促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協力医や医療機関開催の「認知症研修」に参加したり、今後も積極的に参加するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用者様やご家族様からこれまでの生活状況を把握することに努め、生活歴や要望等を伺っている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入居前にご家族様の思いや経済状況を聞ける範囲にて伺うようにしています。面会時や電話手紙等を通じて関係作りに努めています。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人やご家族様の思いを伺い状況確認をし必要な支援を見極め、必要に応じて他のサービス機関につなげる対応をしています。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員は日々の中で利用者様の出来ることを一緒に行えるように努めています。高齢者ならではの知恵や昔の習慣等分らないことは尋ねて共に支えあう関係を築いていけるよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ひまわり新聞(行事紹介のお便り)や、面会時に電話等で日々の様子を報告しご本人思いや様子を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の希望や思いを尊重し外出レクを通じて馴染みのある場所やご自宅周辺などへドライブに出かけたりしています。	家族や友人、知人の面会があったり、携帯電話を使用される方、手紙や暑中見舞いなどの代読をしたりと本人が大切にしてきた人との関係が途切れることがないように配慮している。職員は、外出計画を立て自宅周辺などの馴染みの場所にドライブに行くなどして外出支援に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人一人の個性を把握し、関わり合いや相性を考慮しながらゆっくりと過ごして頂ける場所を提供し利用者同士関わりあえるよう職員が間に入り配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された利用者様へはご家族様・医療機関と連携を取り退院後再入居できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の言動や表情を観察し思いや意向の把握に努めています。困難な場合はご家族様や関係者からの情報を伺うようにしています。	意志表出の少ない方もおられるが、表情や行動などの生活状況を把握しながら、職員や家族と情報を共有しながら本人の思いを汲み取り、本人らしい生活の実現に向けて取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人・ご家族・関係者からの情報収集に努めこれまでの生活歴や生活環境の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日課と個々の状態を知ることができるよう、毎日の申し送りや職員会議等で情報交換し周知できるように連携を図っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の本人の状況を把握したうえで家族と話し合い、本人・家族の思いを反映した計画を作成している。	本人の生きがいや役割を意識した計画を実践しており、3ヶ月ごとにモニタリング実施、半年毎に計画の見直しを行なっている。また、職員会議時にカンファレンスを行い本人らしい生活の実現に向けて話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の状態の変化や職員の気づきなどを個々の生活日記や申し送りノートに記入し、さらに口頭での申し送りや昼礼等に情報共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	多機能性を生かした支援は今のところ実施できていませんが、病院受診に関してはご家族様が多忙時など依頼されると対応できるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的・不定期にボランティアの受け入れ訪問していただいています。地域民生委員の方は運営推進会議に出席していただき施設への理解を深めていただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望するかかりつけ医の受診となっており家族の状況によっては病院受診の同行もしています。また、協力医と訪問看護と契約をし定期的な往診や看護師による健康管理が行われています。	本人や家族が希望する医療機関となっており、訪問診療や外来受診にて適切な診察が受けられるよう取り組んでいる。また、訪問看護との連携があり、他科受診などは家族に協力をいただいているが、同意を得て職員も対応するなど支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、訪問看護に健康チェックをしていただき緊急時や状態変化等連絡報告し対応していただいています。必要時の往診・受診の流れも確立できています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院された場合はできるだけ入院に立ち会い、継続的に面会を行っています。ご家族や医療相談員と情報交換を行いながらかかりつけ医も含め早期退院できるよう努め支援しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向け主治医、ご家族、介護職員で話し合いをし医療・介護スタッフで情報を共有しています。ターミナル指針にかんしては意向確認書や同意書を取っています。看取りについての研修等にも進んで参加しています。	看取り介護に関する指針にて利用者、家族に説明の上で意向確認書、同意書などで意志を把握し同意を取り、段階に応じて主治医や看護師、家族、職員などの関係者間で話し合いながら、ホームでできることを説明し指針を共有してチームケアにて支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアル、連絡網を作成し定期的に職員会議で講習を行い発生時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を実施し利用者様を外へ避難させる訓練を行っています。運営推進会議等で地域の方へ報告しています。</p>	<p>火災・水害対策を最優先に、地元消防団の協力体制がある。夜間帯に避難訓練を実施する予定もある。近隣に居住する職員も数名おり、日々は、定期的な安全点検を実施、備蓄も完備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴や排せつ等のプライバシーはもちろん、一人ひとりの性格や習慣等にも配慮した声掛けを行いながら支援を行っています。	職員は、地元の言葉でありながら馴れ合いにならないよう配慮したり、その方に合った言葉かけや呼びかけをしている。不適切な言葉使いや対応がないかどうかは、職員会議で話し合うようにしている。来客用と業者用の面会簿が分けてあり、プライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望に沿った支援を行うことができますよう努めています。希望を表したり表現ができるよう信頼関係作りを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの一日の流れを尊重しながら興味のあることや個々の年齢や身体状態にも配慮しながら暮らしを支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせた衣類着用の支援、爪切りや髭剃りなどの支援をしています。また散髪希望の際には訪問美容院への依頼の連絡等も行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者様が共に同じテーブルで同じ食事を摂りながら楽しい時間を過ごせるよう心がけています。食事後の簡単な後片付けもできる範囲でお手伝いして頂いています。	隣接の有料老人ホーム厨房から配食があり、炊飯はホームでおこない利用者と職員は共同でおやつ作りを楽しんでいる。お花見弁当、バイキング料理と食事を楽しむ機会を設けている。また、能力に応じたお手伝いもあるなど食の自立支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の記録や毎月2回の体重測定を行いながら前進栄養状態を把握しています。背食事や水分量が極端に落ちている方には嗜好に応じた食事・水分の工夫をし提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを支援、声掛け等による促し、困難な方への支援を適宜行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを知り、自己にての排泄困難な方には声掛け誘導をしています。身体状況に問題ない方は見守りにてトイレでの排泄が行えるよう支援しています。	利用者に合った声かけ、誘導を行いなるべくトイレ排泄ができるよう支援している。年1回、おむつを使用して排泄介助の勉強会を開催している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や水分摂取(牛乳や冷水)にも配慮しながら、便秘の際はかかりつけ医に相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に入浴は午前中にお声をかけていますが、本人のご希望により午後からも実施しています。また、入浴剤や音楽を流したりして入浴を楽しんでいただいています。	基本的に午前中の入浴となっているが、利用者の希望や必要性などに応じて変更するなど柔軟に取り組んでいる。気持ちよく入浴が楽しめるよう声かけも工夫し、音楽や入浴剤を活用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々が自由に休息ができる、入眠できるよう習慣を把握しながら支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情を一人一人ファイルにて保管し常に確認・共有できるようにしています。頓服などの服薬時には訪問看護師の指示を仰ぎながら服用していただいています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を把握し、簡単な家事全般やお菓子作りなどできることを役割とし、テレビ観賞や読書、新聞の閲覧など気分転換ができるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候の良い時期には近隣の散歩やドライブを行っています。また、利用者様の行きたい場所なども事前に聞き要望に応えられるよう心がけています。	春や秋の花見見物、ソーメン流し・秋祭りなどへの外出参加や、個別に日常の散歩をしたり、また家族に協力をいただきながらの外出も支援している。年々、認知症や身体機能の低下により、外出の頻度が少なくなってきたはいるが、本人の希望を聞いたりして月1回程度は、外出をするよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持には制限はありませんが、利用者様の状態によっては職員がご家族の了承のもと預かり管理を行っています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族や知人との電話や手紙のやり取りに関しては特に制限はなく、可能な限り自由にやり取りを行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様の居室や共同スペースなどは不快なく過ごすことができるよう常に清潔を保つよう心がけ、照明や温度調節をおこなう気持ちよく過ごすことができるよう取り組んでいます。</p>	<p>玄関には、ホームの理念や顔写真入りで職員紹介がされ、利用者の年初めの願いの書かれた絵馬、ちぎり絵が掲示されている。リビングは明るく、食卓やソファがテレビ鑑賞がしやすく、また、来訪者とのコミュニケーションが図りやすいよう配置されている。トイレ床材はクッション性の高い素材を使用し、暖房器具を活用して保温や安全性に配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自室で過ごされたり、リビングにて他者と談話されたりと個々にあった自由な時間を過ごしていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ち込みの家具や、馴染みのある物を持ってきていただきご家族の写真や、職員・利用者様が作った作品を展示したりして、居心地よく過ごして頂けるよう工夫しています。</p>	<p>ベット、洗面台などが備え付けられており、寝具や観葉植物、趣味の本や新聞など馴染みの物を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。居室は、畳やフローリング仕様で使えるようになっており、畳は必要に応じて洗浄し清潔に使用し気持ちよく過ごせるよう努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビングやトイレ、浴室内に手すりの設置をし、段差や障害物での移動の障害とならないように配慮している。トイレの場所がわかりやすいように表示したり、自分の居室がわかるように写真や名前を掲示しています。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない